

施政方針



▲施政方針演説をする神園市長

**平成25年枕崎市議会第1回定例会が3月1日
召集され、神園征市長が平成25年度の市政運
営についての施政方針演説を行いました。そ
の一部を抜粋して紹介します。**

昨今の我が国の政治・経済状況は、長らく低迷が続いていましたが、昨年末あたりから多少の明るい兆しが見え始めています。この動きを本市経済の浮揚にしっかりと結び付けられるよう、新年度も様々な政策を展開していかねばなりません。

昨年の市政の大きな成果としては、まず第一に枕崎空港を廃止し、その跡地へメガソーラー事業の誘致が実現できたことが挙げられます。

枕崎空港の維持管理や運営に要する費用が与える本市財政への負担は重く、多くの市民の皆さんから御心配の声をいただいております。今後は、空港跡地でメガソーラー事業が展開され、事業者からは土地賃借料や地域貢献等として年間約8千5百万円が、本市及び南薩エアポート株式会社へ支払われる予定であります。本市分の使途については、毎年度、慎

重に検討を行います。

また、目新しい地域貢献策の一つとして、メガソーラー事業者が天文観測施設の設置を行うことも決定しました。この施設は、本市の青少年に夢を与えるとともに、大人の皆さんにも興味を持っていただけるものであり、観光資源としての活用策も考えられるのではないかと思います。さらに、本市事業としては、鹿児島県防災ヘリ基地機能維持のため空港跡地の一角に公共用ヘリポートの整備を進めます。

次に、枕崎駅舎の建設であります。「枕崎駅舎建設期成会」の皆さんには大変な御苦勞をいただき、駅舎の建設工事も始まり、市民の期待も一層高まっております。この間、多くの市民の皆さんや本市出身の方々、あるいは企業、さらには、これまで本市に御縁のなかった多くの皆さん方から、多額の御寄附と温かい励ましの言葉を

いただきました。来月には皆さんに完成の御披露ができるものと予定しています。

完成した駅舎の周辺整備は、県の「魅力ある観光地づくり事業」において新年度以降も引き続き整備が行われるほか、本市最大の海難事故である「黒島流れ」により一家の柱ともいふべき人を失った女性たちによるかつお節行商の歴史を知っていただく「かつお節行商の像」や、枕崎に伝わる「海幸・山幸伝説」を表現する像を期成会が設置することになっています。

さらに、日本の最南端の始発・終着駅の整備によって、最北端の始発・終着駅を有する稚内市との交流の意義もますます深まることにも、多くの鉄道ファンや九州新幹線を利用して本県を訪れる観光客の皆さんが本市まで足を延ばしていただけるよう、新しい駅舎を本市観光の基点として、ソフト事業の展開を含めて力を注ぎたいと考えています。

次に、道路整備の状況であります。南薩縦貫道については、長年の要望活動により、枕崎からの早期着工が実現しました。県が平成27年度の完成を目標に、現在、測量、設計、用地調査を行っております。新年度も引き続き工事が行われる予定です。

国道225号峯尾峠の線形改

フト事業の具体的な展開についても検討していきます。

また、新年度は、今回で第10回を迎える「風の芸術展」の開催年でもあり、加えて、自主文化事業として、カナダに在住しながら国際的に活躍中の日本人女性オペラ歌手による「抒情歌コンサート・イン・枕崎」も計画されているなど、本市からの更なる文化情報発信に努めます。

②雇用の場の確保
企業誘致に向けた地道な取組を進めるとともに、新年度も緊急雇用創出事業臨時特例基金事業を積極的に取り入れ、雇用の確保に努めます。

③福祉の充実
さきに述べました「地域包括ケアシステム」の構築のための取組のほか、新たに具体的な施策として、高齢者元気度アップ・ポイント事業を実施し、高齢者の自主的な健康づくりや社会参加活動に對して、地域商品券に交換できるポイントを付与し、高齢者の健康維持や介護予防への取組を促進するとともに、地域経済の活性化を図ります。

④行財政改革
本市の厳しい財政状況の改善を図ることはもちろん、枕崎再生を図る財源確保のためにも、重要な課題であります。さきに策定し

良については、昨年、その一部が供用開始されましたが、さらに、登坂車線の設置等についても、国からは実施するとの回答を得ることができました。

道路は、地域の社会・経済活動を支える大切な基盤でありますので、引き続き、その早期整備を関係先に強く働き掛けていきたいと考えています。

続いて、企業誘致については、昨年は、適地と思われる箇所の水源地調査に取り組みましたが、なかなか思うような用地が見当たっていませんでした。

しかし、雇用の確保・増大は市民の皆さんの強い要望でありますので、今もなお、引き続き進出の意向を持つ企業との折衝を続けており、本市の資源を活かし地域に根ざした事業を行っていたただける企業の誘致に努めます。

昨年末には、枕崎の特性を活かすために「枕崎港コンテナヤード建設促進協議会設立準備会」を立ち上げ、勉強会も始めました。健康・福祉の面では、保健、医療、介護、福祉が有機的に連携しながら一体的な取組を行う地域包括ケアシステムの構築に向け、調査・研究を行うための検討会を設置することとしました。新年度は、その活動を活発に行い、市民の健康・福祉の向上につなげる施策の

た「第二次行財政集中改革プラン」を着実に実施し、職員の間なる意識改革を図りながら、具体的な取組を進めます。

⑤職員の地域担当制
これまで5つの公民館に担当職員を派遣しており、各公民館におかれても制度の理解が少しずつ浸透してきているものと思っておりますので、新年度も派遣を受ける公民館の掘り起こしに努め、地域の抱える様々な課題について自主的に解決し地域を活性化するための取組を進めます。

⑥快適な環境づくり
更に市民との対話に努め、市・事業場・関係機関・市民が一体となった取組を強化します。

この6項目のほか、あらゆる機会をとらえて本市の活性化策に取り組みなければなりません。今後の市政運営に当たっては、限られた予算の中、創意工夫を凝らし、計画に盛り込まれた施策を一つ一つ着実に推進していきけるよう、引き続き努力を続けます。

※施政方針の全文は、市ホームページに掲載しています。【市政・サービス↓市長あいさつ↓平成25年度施政方針】

検討を急ぎたいと考えています。教育面では、金山小学校について、望ましい学校づくり基本方針や校区の学校在り方検討委員会におけるとりまとめ等を踏まえ、統廃合に係る基本方針を決定いたしました。新年度は、平成26年度からの桜山小学校との統合に向け、その準備を進めます。

昨年、「空き家等の適正管理に関する条例」を制定いたしました。新年度は、危険度の高い空き家の撤去等に対する助成制度を新設し、条例の実効性を高めていきたいと考えています。

「住宅リフォーム助成制度」については、多くの皆さんに活用いただき、平成24年度で当初定めた2箇年の予定額に達しました。新年度も引き続き実施します。

このほか、昨年の本市の動きで特に御報告すべきものとして、市立病院のリニューアルオープン、稚内市との友好都市盟約の締結、「ふしの日」「いいふしの日」の制定のほか、市民の皆さんにも大変な御活躍をいただいた例として、「36代木村庄之助」こと山崎敏廣さんへの市民栄誉賞の授与、「枕崎鯉船人めし」のS-1グランプリ優勝、火の神乙女太鼓の全国大会5位入賞、本市の鯉節製造業者3社が、全国鯉節類品評会で最高賞である農林水産大臣賞に輝く

等々がありました。この市民の皆さんの元気を、市政の展開にも活かしていけるよう、更に努力を積み重ねたいと考えております。

市長就任時に掲げた6つの項目の進捗状況

①コンパクトシティ

これまでの調査、検討を踏まえて具体的な施策を展開しました。昨年、具体化した「がんばる商店街支援事業」「商店街空き地空き店舗対策事業」「チャレンジショップ促進事業」については、制度の広報・周知に更に努力し、市民の皆さんにこの制度を大いに御利用いただき、本市の経済・雇用対策に生かしていきたいと考えています。

コミュニティ交通については、平成23年度にスタートした「文化の風まくらぎアートストーリー整備事業」については、県の補助事業を活用し、町頭交差点から花渡橋までの区間で引き続き実施することとしています。新年度が最終年度となりますので、これまで整備された施設を活かしたソ